

長岡造形大学

一般入学試験 「前期日程」「中期日程」

学生募集要項

平成 29 年度

平成29年度
長岡造形大学
一般入学試験
〔前期日程〕〔中期日程〕
学生募集要項

目次

建学の理念について	3
アドミッションポリシー	3
一般入学試験で求める人物像.....	4
募集人員	4
出願資格	4
出願期間および出願方法	4
入学検定料および納入方法	4
出願書類および記入上の注意.....	5
選考方法・試験科目等	6
試験会場案内.....	6
試験科目・配点表	7
試験科目インフォメーション.....	8
合格発表	9
入学手続	9
追加合格	9
出願・受験についての諸注意.....	10
初年度納付金.....	11
個人成績の開示	12
入学願書記入例	13
高等学校等コード表、予備校等コード表.....	14-23
長岡造形大学入学試験出願資格認定審査要項.....	24-25
一般入学試験 模擬問題	26-32
入学試験に関する問い合わせ.....	33

巻末

- ・個人別成績開示申請書
- ・一般入学試験〔前期日程〕選択A 入学願書（入学志願票・写真票・振込依頼書・振込金（兼手数料）受取書）
- ・一般入学試験〔前期日程〕選択B 入学願書（入学志願票・写真票・振込依頼書・振込金（兼手数料）受取書）
- ・一般入学試験〔中期日程〕選択C 入学願書（入学志願票・写真票・振込依頼書・振込金（兼手数料）受取書）
- ・受験票等返送用封筒
- ・出願用封筒〔前期日程〕
- ・出願用封筒〔中期日程〕

個人情報の取扱いについて

ご提出いただいた書類等の個人情報は、受験票や合否通知、入学手続書類等の送付、書類記載事項についての確認、その他本人および保護者への連絡、情報の伝達に用います。

またご提出いただいた情報は、本学とその業務の委託を受けた業者において責任を負うこととし、業務委託する業者とは「委託契約」を締結し、情報の管理、利用保護に努めます。

建学の理念

造形を通して真の人間の豊かさを探求し、これを社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

社会の要請を的確に認識し様々な課題に対して創造的な解決策を提示するための3つの力「社会人基礎力」「構想力」「造形力」を養うことを教育の目標とします。

これらの能力の獲得を目的とする授業科目を履修し、卒業要件単位を修得した者に学士課程学位を授与します。

教育目標に揚げる3つの能力

1. 社会人基礎力

自然・人、社会・人との関わりに関心を持ち、主体的、自律的、継続的な学修ができ、論理的、多面的に物事を考え抜き、状況を判断し、責任感と協調性をもって行動できる。

2. 構想力

人と造形との関係を追究する専門的・横断的な知識を身につけ、「問題の発見、原因の究明、解決への構想、試行及び検証」を行うことができる。

3. 造形力

人・もの・自然に対する豊かな感性を備えて、「思い」を形にする伝達技術としての表現ができる。

教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）

- 地域・社会や企業と連携した実践的なデザインプロジェクトにより、社会人基礎力を養成する「地域・社会連携系」科目を拡充します。
- 構想力を重視したデザインプロセスを総合的に学ぶ演習・実習科目を強化します。
- 複合的な造形力修得のための横断的科目の充実を図ります。

アドミッションポリシー

社会において創造的役割を担いたいとの強い気持ちを抱き、基礎的な学力・表現力及び学ぶ意欲を持ち、長岡造形大学でのカリキュラムを通してその実現に向けた力を養いたいと思う者を広く受け入れる。

一般入学試験で求める人物像

本学の建学の理念を理解し、学修意欲を持って本学入学を希望する者で、学力、描写力、基礎的デザイン適性、文章表現力などの能力を持つ人物。

募集人員

学部	学科	前期日程人数	中期日程人数
造形学部	プロダクトデザイン学科	14	4
	視覚デザイン学科	51	17
	美術・工芸学科	14	4
	建築・環境デザイン学科	21	5
計		100	30

出願資格

次のいずれかに該当し、かつ平成 29 年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 29 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成 29 年 3 月までにこれに該当する見込みの者

出願期間および出願方法

- (1) 出願期間 平成 29 年 1 月 23 日(月)～2 月 1 日(水) ※出願書類は出願期間内必着
- (2) 出願方法 出願書類を一括取り揃え、入学検定料を納入し、書類は本学所定の出願用封筒を使用して、必ず書留速達で郵送してください。ただし、やむを得ない場合は本学入試課に持参しても構いません。(窓口受付時間・・・8:30 から 17:00 まで。土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません)

入学検定料および納入方法

- (1) 入学検定料 17,000 円
- (2) 納入方法
 - ・ 本学所定の用紙(振込依頼書)を使用し、必要事項を記入の上、最寄りの銀行・信用金庫等の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)から本学指定口座に振込んでください。ATM は使用しないでください。
 - ・ 振込手数料は志願者の負担となります。
 - ・ 取扱金融機関収納印のないものは無効です。
 - ・ 「振込金(兼手数料)受取書」は領収書となるので、大切に保管してください。
 - ・ 一旦納入された入学検定料は以下①～⑤の場合を除き返還しません。①～③に該当する場合は入学検定料 17,000 円から返還にかかる振込手数料を差し引いて返還します。返還を希望する場合は平成 29 年 2 月 8 日(水)までに本学入試課に問い合わせをしてください。下記④⑤による場合、返還手続に必要な書類は本学から送付します。
 - ① 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
 - ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ③ 出願書類、出願要件に不備があり、出願を受理されなかった場合
 - ④ 本学の出願書類受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した場合、13,000 円を返還します
 - ⑤ 2 段階選抜を実施し、第 1 段階選抜の結果、不合格となった場合、13,000 円を返還します

出願書類および記入上の注意

入学志願票	① 巻末の用紙から該当する選択区分のものを選び、使用してください。 ② 記入にあたっては、P.13「入学願書記入例」を参照してください。 ③ 選択 A で出願する者は、「平面構成」または「鉛筆描写」を選択し、試験科目の欄に番号を記入してください。 ④ 平成 29 年度大学入試センター試験受験番号欄に平成 29 年度大学入試センター試験の受験番号を記入してください。 ⑤ 氏名のフリガナの欄は、濁点「・」、半濁点「゜」も 1 文字分として記入してください。また小文字も大文字として記入してください。 ⑥ 生年月日及び卒業等年の欄は、1 桁の場合、10 の位に「0」を記入してください。 ⑦ 高等学校等コードの欄は、P.14「高等学校等コード表」を参照のうえ、正確に記入してください。 ⑧ 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）の卒業等年の記入は 3. 高認合格を選択してください。 ⑨ 予備校等に通っていた者は、予備校等コードの欄に、P.23「予備校等コード表」を参照のうえ、正確に記入してください。 ⑩ 住所の欄は、確実に連絡できる場所を記入してください。
写真票・振込依頼書 振込金(兼手数料)受取書	① 巻末の用紙を使用してください。 ② 振込依頼書の氏名(カナ)欄に学科番号を忘れずに記入してください。 ③ 選択 A で出願する者は、写真票の試験科目の欄の「平面構成」または「鉛筆描写」のいずれかを○で囲んでください。
調査書	出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。(前期日程と中期日程を併願する場合は 2 通必要です) ※高等学校卒業程度認定試験合格者(大学入学資格検定合格者含む)は、合格証明書および合格成績証明書を提出してください。高等学校卒業程度認定試験合格見込者は合格見込成績証明書を提出してください。
写真 1 枚	正面上半身脱帽の写真(タテ 4cm × ヨコ 3cm 裏面に氏名を記入)で、出願 3 カ月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼付してください。 (前期日程と中期日程を併願する場合は 2 枚必要です)
平成 29 年度センター 試験成績請求票	前期日程は「国公立前期日程用」、中期日程は「公立大学中期日程用」を写真票の所定の欄に貼付してください。
受験票等返送用封筒	本学所定の封筒を使用してください。郵便番号、住所、氏名を記入し、362 円分の切手を貼付してください。(前期日程と中期日程を併願する場合は 2 通必要です)

※一旦提出された出願書類等は、どのような理由があっても返還しません。

※出願用封筒には前期日程用と中期日程用の 2 種類があります。前期日程および中期日程を併願する場合は、出願書類一式をそれぞれの封筒に入れて郵送してください。

選考方法・試験科目等

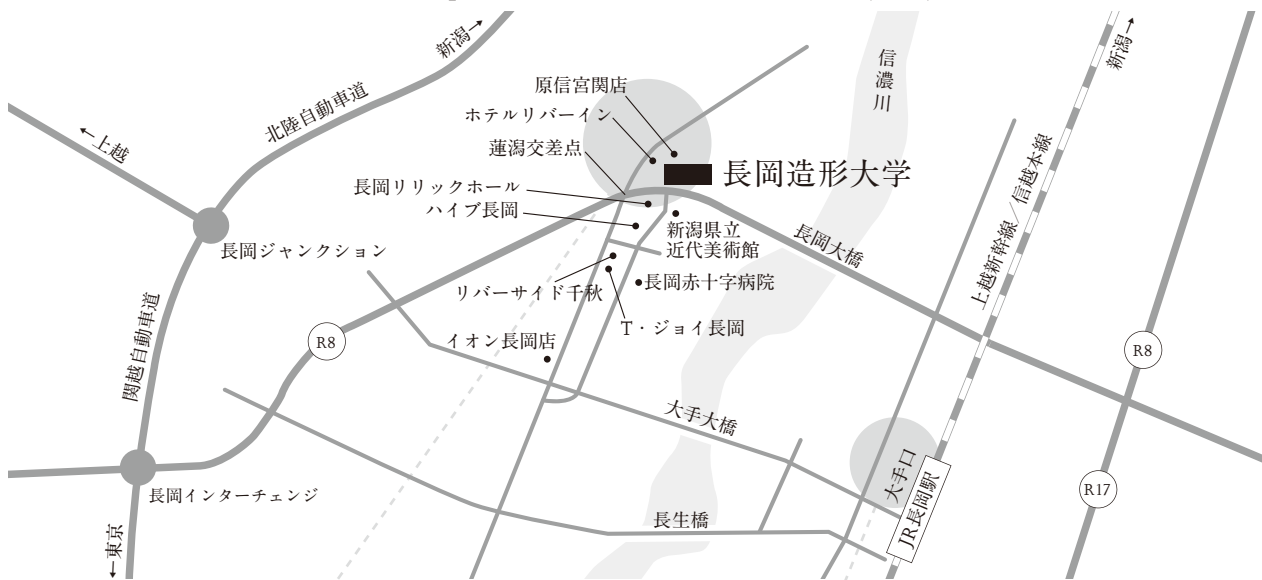
選考方法	平成 29 年度大学入試センター試験の成績、出願書類及び個別学力検査等の成績を総合して合否を判定します。						
	学科ごとに前期日程 3 倍、中期日程 8 倍の志願倍率を超えた場合、平成 29 年度大学入試センター試験の成績により 2 段階選抜を行うことがあります。2 段階選抜実施の有無、合否については、前期日程は平成 29 年 2 月 8 日 (水) まで、中期日程は 2 月 20 日 (月) までに志願者全員に通知書を発送します。						
前期日程	選択 A	個別学力検査等			平面構成または鉛筆描写		
		試験日	平成 29 年 2 月 25 日 (土)	集合時刻	9:00	試験時間	9:30 ～ 12:30 (180 分)
	選択 B	個別学力検査等			小論文		
		試験日	平成 29 年 2 月 25 日 (土)	集合時刻	13:30	試験時間	14:00 ～ 15:30 (90 分)
中期日程	選択 C	個別学力検査等			面 接 (20 分程度)		
		試験日	平成 29 年 3 月 8 日 (水)	集合時刻	大学が指定する時刻を受験票発送時に通知します (午前または午後のいずれかで、志願者は選択できません)。		

※大学入試センター試験科目については P7「試験科目・配点表」、個別学力検査等の出題内容・持参用具については、P8「試験科目インフォメーション」を参照してください。
 ※中期日程の面接試験で自己アピール等に必要な場合は作品を持参してください。なお、持参する作品は、志願者本人が一人で持ち運びでき、面接時間内に独力で提示できるものに限りです。

試験会場案内

長岡造形大学

アクセス 越後交通路線バス：JR 長岡駅大手口 2 番バス乗り場から、江陽環状線または江陽団地行きに乗車、約 15 分、「長岡造形大学前」下車、徒歩約 1 分。料金 260 円 (片道)。



●大学付近案内



●長岡駅大手口バス乗り場



※所要時間はあくまでも目安です。

試験科目・配点表

日程	平成 29 年度 大学入試センター試験の利用教科・科目名等				個別学力検査等		合計		
	教科	科目等		配点	科目	配点			
前期	選択 A	国語	「国語」 近代以降の文章、古典（古文、漢文）全て	必須	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)	「平面構成」 「鉛筆描写」 から 1 科目 選択	300 点	500 点	
		外国語	「英語」 リスニングを含む	必須	100 点 (250 点満点を 100 点満点に換算する)				
	選択 B	国語	「国語」 近代以降の文章、古典（古文、漢文）全て	必須	100 点 (200 点満点を 100 点満点に換算する)	小論文	100 点	500 点	
		外国語	「英語」 リスニングを含む	必須	100 点 (250 点満点を 100 点満点に換算する)				
		地理歴史 ※ 2	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」	得点 上位の 2 科目 ※ 1	1 科目 100 点 合計 200 点				
		公民 ※ 2	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・ 経済」						
		数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」 ----- 「数学 II」「数学 II・数学 B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」						
		理科 ※ 2 ※ 3	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ----- 「物理」「化学」「生物」「地学」						
	中期	選択 C	国語	「国語」 近代以降の文章、古典（古文、漢文）全て	必須	150 点 (200 点満点を 150 点満点に換算する)	面接	150 点	500 点
			外国語	「英語」 リスニングを含む	必須	100 点 (250 点満点を 100 点満点に換算する)			
地理歴史 ※ 2			「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」	得点 上位の 1 科目 ※ 1	100 点				
公民 ※ 2			「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・ 経済」						
数学			「数学 I」「数学 I・数学 A」 ----- 「数学 II」「数学 II・数学 B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」						
理科 ※ 2 ※ 3			「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ----- 「物理」「化学」「生物」「地学」						

※ 1 大学入試センター試験の得点上位の科目は本学で自動的に選択し採用します。

※ 2 地理歴史、公民及び理科の基礎を付さない科目を採用する場合は第 1 解答科目に限ります。

※ 3 理科の基礎を付す科目は、2 科目の合計点を 1 科目とします。

試験科目インフォメーション

平面構成	出 題 範 囲	平面構成
	試 験 時 間	180 分
	出 題 趣 旨	平面を構成する造形力及び、色彩感覚の能力を見る。
	出 題 内 容	テーマに基づき、支給されるイラストレーションボードに平面構成を行う。
	評 価 の ポ イ ン ト	テーマに対しての独自の発想力 テーマに即した色彩表現 対比・調和・動きなどを含む画面構成力
	志願者が持参するもの	不透明水彩絵の具、筆（平筆、丸筆、面相筆など）、絵の具皿またはパレット、筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、鉛筆削り用具（カッター等）、コンパス、三角定規（1 組）、30cm 直定規、筆洗いバケツ、雑巾 ※水差し持参可
	大学で用意するもの	ケント紙イラストレーションボード、草案用紙等
鉛筆描写	出 題 範 囲	鉛筆デッサン
	試 験 時 間	180 分
	出 題 趣 旨	発想力、描写力、画面構成力を見る。
	出 題 内 容	設問に従って画用紙ボードに描写する。
	評 価 の ポ イ ン ト	コンポジション・バランス・スペースなどを意識した画面構成力 モチーフ各々のプロポーション把握力 質感表現力
	志願者が持参するもの	鉛筆（黒各種）、消し具（消しゴム、練り消しゴム）、鉛筆削り用具（カッター等） ※羽根ぼうきまたはブラシ持参可
	大学で用意するもの	画用紙ボード、草案用紙等
小論文	試 験 時 間	90 分
	出 題 趣 旨	理解力、発想力、構想力及び文書表現力を見る。
	出 題 内 容	出題された文章を読み、設問に従って、800 文字程度の範囲内で論述する。
	評 価 の ポ イ ン ト	出題意図を正しく理解できているか 論理的な思考ができているか 着眼点や説得力に優れているか 正しい文章表現がなされているか
	志願者が持参するもの	筆記具（HB または B の鉛筆・シャープペンシル、消しゴム）
面接	試 験 時 間	20 分程度
	面 接 方 式	個別面接（志願者 1 人に対し、面接官複数人）
	評 価 の ポ イ ン ト	本学への志望動機、志望する分野への理解度及びコミュニケーション能力を見る。
	そ の 他	自己アピール等に必要な場合は作品等を持参してください。なお持参する作品等は、志願者本人が一人で持ち運びでき、面接時間内に独力で提示できるものに限りします。

合格発表

下記の合格発表日時に、本学学生エントランスに合格者の受験番号を掲示するとともに本学ホームページに掲載します。なお、合否結果は志願者全員に速達郵便にて通知します。

電話あるいは直接の問い合わせには一切応じません。

合格発表日時 [前期日程] 平成29年3月 3日(金) 13:00(予定)

[中期日程] 平成29年3月20日(月) 13:00(予定)

入学手続

合格者には合格通知とともに入学手続書類を送付します。下記の入学手続期間内に、入学手続時納付金を納入し、入学手続に必要な書類を必ず書留速達で郵送により手続を行ってください。

(入学手続時納付金については、P.11「初年度納付金」を参照)

一旦納付された入学料は返還しません。

入学手続期間 [前期日程] 平成29年3月 6日(月)～3月10日(金) (入学手続期間内必着)

[中期日程] 平成29年3月21日(火)～3月27日(月) (入学手続期間内必着)

注意事項：入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

なお、入学手続完了後に、本学および他の国公立大学の前期・中期・後期日程試験を受験してもその合格者とはなりません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/>) 参照

追加合格

入学手続き状況により欠員が生じた場合、3月28日(火)から追加合格により欠員を補充します。この場合、合格通知は入学志願票に記載された電話番号に電話連絡します。入学の意思については直接本人に確認しますので、確実に連絡が取れるようにしておいてください。

出願・受験についての諸注意

出願について

1. 出願書類受付後の変更は認めません。
2. 下見のための試験会場への立ち入りはできません。
3. 受験票が試験日の3日前までに届かない場合は、本学入試課まで問い合わせてください。
4. 入学試験のために宿泊が必要な場合は、志願者自身で手配してください。
5. 身体等に障がいのある志願者で、受験および修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願前に十分時間に余裕を持って本学入試課に相談してください。
6. 入学願書に記載した住所に変更が生じた場合は、直ちに本学入試課に申し出てください。
7. 出願上不明な点があるときは、本学入試課に問い合わせてください。
8. 国公立大学の推薦入学試験またはアドミッションオフィス入学試験の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、他の国公立大学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、入学許可を取り消されることがあります）
9. 同一日程グループ内に属する複数の大学・学部に出願することはできません。
10. 本学の前期日程と中期日程の併願は可能です。

受験について

1. 試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票を紛失したり、試験当日忘れた場合は、必ず係員に申し出てください。
2. 試験室への入室は、集合時刻までに行い、入室後受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机の受験番号のわきに置いてください。
3. 前期日程は試験開始時刻から20分以上遅刻した場合、中期日程は集合時刻から20分以上遅刻した場合、受験を認めません。ただし、試験当日交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により、試験開始時刻に到着できない場合には、直ちに本学に電話連絡をし、指示を受けてください。（電話番号はP.33「入学試験に関する問い合わせ」参照）
4. 試験時間中の退室は認めません。
5. 試験室には時計が設置してありません。必要な場合は各自で持参してください。ただし、携帯電話および計算機能・翻訳機能の付いた時計等の使用は認めません。
6. 昼食が必要な者は、各自用意してください。
7. 入学試験当日、会場付近で電報（合格通知）の勧誘や印刷物の配布等があったとしても、本学とは一切関係がありません。トラブルのないよう十分注意してください。
8. 付添者の控室はありません。

初年度納付金

【長岡市内在住者】

内 訳		入学手続時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		141,000 円	—	入学時のみ
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
実 習 料		25,000 円	25,000 円	
代 理 徴 収	学生会費	4,000 円	—	
	保護者会費	10,000 円	—	
	校友会費	10,000 円	—	
合 計		457,900 円	292,900 円	

【長岡市外在住者】

内 訳		入学手続時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		282,000 円	—	入学時のみ
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
実 習 料		25,000 円	25,000 円	
代 理 徴 収	学生会費	4,000 円	—	
	保護者会費	10,000 円	—	
	校友会費	10,000 円	—	
合 計		598,900 円	292,900 円	

※「長岡市内在住者」とは、平成29年4月1日現在において、本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が引き続き1年以上長岡市内に住所を有している人をいいます。

個人成績の開示

志願者本人から申請があった場合、平成29年度入学試験の個人成績を以下の要領で開示します。

1. 開示する内容

次の①および②を開示します。

① 一般入学試験個別学力検査等の得点

② 大学入試センター試験の科目別得点のうち、本学が合否判定に利用した科目の換算後の総合得点

2. 申請期間

平成29年5月8日(月)～6月30日(金) ※期間内必着

3. 申請方法

大学窓口で直接申請する方法と郵送で申請する方法があります。どちらも開示結果は1週間程度で簡易書留にて郵送します。

(1) 窓口で直接申請（申請者は志願者本人に限ります）

必要書類等を用意し、開示期間の土・日・祝・大学休業日を除く午前8時30分から午後5時まで
に本学の事務局窓口で申請してください。なお、事前に本学入試課まで連絡をしてからお越しく
ださい。(入試課 Tel. 0258-21-3331)

(2) 郵送で申請

必要書類等を本学入試課宛に郵送してください。

【必要書類等】

① 個人別成績開示申請書（本要項の巻末・必要事項を記入）

② 本学受験票

③ 現住所確認書類（住民票、保険証(写)、運転免許証(写)、公共料金の領収書(写)のいずれか）

④ 返送用封筒（長3封筒に392円分の切手を貼り、志願者本人の住所氏名を記入）

※他の入学試験と同時に開示を申請する場合は402円分の切手を貼る

【個人別成績開示申請先】 長岡造形大学 入試課

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

入学願書記入例

[illegible]

このまま切り離さずに金融機関に持参してください。入学検定料振込後、取扱金融機関収納印を確認してください。

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

予備校等コード表

・本表は、入学志願票の予備校等コード欄の記入の欄に用いること。

北海道	札幌美術学院 0101	中央美術研究所 0802	A1アートスクール 1320	松本美術学院 2002	WORKHOUSE造形研究所 2702
	札幌美術研究所 0102	土浦美術研究所 0803			総合美術研究所 2703
	札幌美術研究所 0103	その他の予備校等 0804			飯田美術研究所 2704
	北海道造形美術学院 0104	その他の予備校等 0899			川岸美術教室 2705
青森県	アトリエエムエム 0201	栃木県	神奈川県	その他の予備校等 2099	アートスクール細造形院 2707
	アトリエエムエム 0202			その他の予備校等 2799	アートスクール細造形院 2708
	アトリエエムエム 0203			その他の予備校等 2799	アートスクール細造形院 2709
	アトリエエムエム 0204			その他の予備校等 2799	アートスクール細造形院 2710
岩手県	アトリエエムエム 0301	群馬県	新潟県	その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2711
	アトリエエムエム 0302			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2712
	アトリエエムエム 0303			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2713
	アトリエエムエム 0304			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2714
宮城県	アトリエエムエム 0401	埼玉県	千葉県	その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2715
	アトリエエムエム 0402			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2716
	アトリエエムエム 0403			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2717
	アトリエエムエム 0404			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2718
秋田県	アトリエエムエム 0501	東京都	東京都	その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2719
	アトリエエムエム 0502			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2720
	アトリエエムエム 0503			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2721
	アトリエエムエム 0504			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2722
山形県	アトリエエムエム 0601	東京都	東京都	その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2723
	アトリエエムエム 0602			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2724
	アトリエエムエム 0603			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2725
	アトリエエムエム 0604			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2726
福島県	アトリエエムエム 0701	東京都	東京都	その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2727
	アトリエエムエム 0702			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2728
	アトリエエムエム 0703			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2729
	アトリエエムエム 0704			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2730
茨城県	アトリエエムエム 0801	東京都	東京都	その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2731
	アトリエエムエム 0802			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2732
	アトリエエムエム 0803			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2733
	アトリエエムエム 0804			その他の予備校等 2299	アートスクール細造形院 2734

※以下の要項は一般入学試験の出願資格(3)のうち学校教育法施行規則第150条第7号により出願しようとする者
にのみ適用される要項です。

長岡造形大学入学試験出願資格認定審査要項

学校教育法施行規則第150条第7号により本学造形学部の入学試験へ出願しようとする者は、事前に本出願資格認定審査を受け、出願資格を認定された場合に限り出願できるものとします。

出願資格認定審査の対象者

本学に入学する意思があり、18歳に達している者及び平成29年3月31日までに18歳に達する者で次の条件のいずれかを満たす者

- (1) 中学校卒業後、専修学校や各種学校等の教育施設で3年以上の学習をしている者
- (2) 社会における実務経験や資格を有している者
- (3) 日本の大学で科目等履修生として在籍中又は在籍していた者
- (4) その他本人が高等学校卒業と同等以上の学力を有すると思う者

申請に必要な書類

申請者全員に必要な書類

- ① 出願資格認定審査申請書（本学指定様式：本学に連絡し、取り寄せてください）
- ② 最終学歴の卒業（修了）証明書
- ③ 平成29年3月31日までに18歳に達することを証明することができる書類（運転免許証、健康保険証、パスポートのコピー等）

出願資格(1)に該当する者

- ・ 当該教育施設の教育課程がわかる書類及び当該学校での学習歴を証明できる書類

出願資格(2)に該当する者

- ・ 実務経験の期間及び内容を証明できる書類または、取得した資格を証明できる書類
- ・ 出願資格認定審査申請理由書

出願資格(3)に該当する者

- ・ 科目等履修生の在学（在籍）証明書及び単位取得証明書
- ・ 出願資格認定審査申請理由書

出願資格(4)に該当する者

- ・ 出願資格認定審査申請理由書

また複数の出願資格に該当する者は、それぞれの申請書類を合わせて提出してください。

審査方法

審査基準に基づき、提出された書類の内容を審査します。

審査基準

出願資格(1)に該当する者

当該学校での学習内容の授業時間数、履修科目、単位数が高等学校学習指導要領に準じているか。

出願資格(2)に該当する者

社会における実務経験や取得した資格の内容が、本学学部の教育目的、教育課程に照らし相応しい内容であるか。

出願資格(3)に該当する者

日本の大学の科目等履修生としての学習内容が、高等学校の基礎科目の理解がなされている内容であるか。

出願資格(4)に該当する者

本人から提出された書類の内容が、高等学校を卒業した者と同等以上であると思われる内容であるか。

また複数の出願資格に該当する者は、それぞれの提出書類の内容を総合的に審査します。

申請書類の提出方法

申請書類を一括取り揃え、必ず書留にて郵送してください。また、封筒の表に「出願資格認定審査申請書類 在中」と朱書してください。ただし、やむを得ない場合は本学入試課まで持参しても構いません。

(窓口受付時間 8:30 から 17:00 まで。土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません)

申請書類の受付期間

平成28年12月16日(金)まで

審査結果の通知

審査結果については、申請後概ね1ヶ月以内に申請者宛に郵送により通知します。出願資格が認められた者には、「長岡造形大学出願資格認定書」を送付します。「長岡造形大学出願資格認定書」の交付を受けた者は、本学造形学部の入学試験に出願することができます。入学試験に出願の際は必ず、「長岡造形大学出願資格認定書」のコピーを出願書類に添付してください。

その他

個別審査の時点において学習歴が修了見込である者が、認定を受け本学の入学試験に合格し本学に入学する場合には、改めて必要な書類の提出を求めます。

申請書類の請求、お問い合わせ先

P.33「入学試験に関する問い合わせ」を参照してください。

一般入学試験 模擬問題

平面構成 180分

- 志願者が持参するもの：不透明水彩絵の具、筆（平筆、丸筆、面相筆など）、絵の具皿またはパレット、筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、コンパス、三角定規（1組）、30cm 直定規、筆洗いバケツ、雑巾
- 大学で用意するもの：ケント紙イラストレーションボード、草案用紙 等

模擬問題 1 ※この問題は平成27年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです

〈問題〉

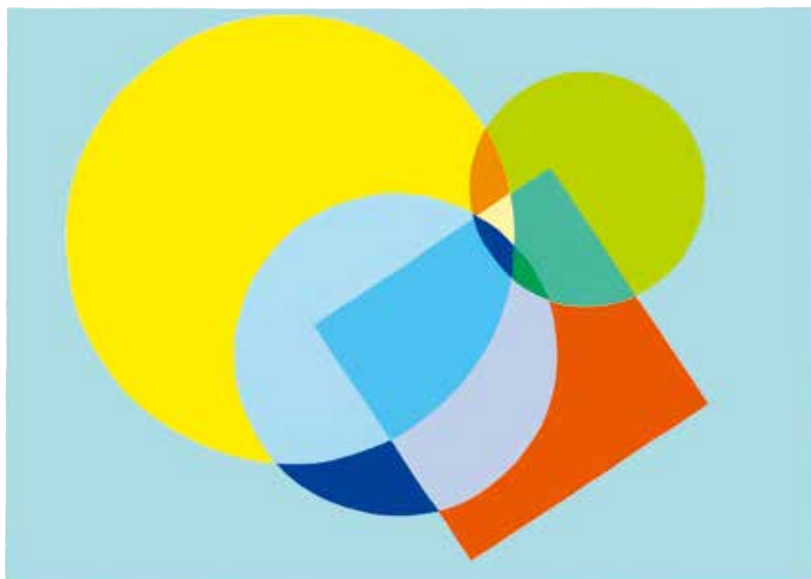
条件に従い、以下の要素全てを使って、美しい色彩構成をなさい。

- 任意の正円3つ
- 任意の四角形1つ

〈条件〉

- 1) 与えられた A3 イラストレーションボード横位置中央に、縦 210mm × 横 297mm の長方形を描き、その長方形内を画面とする。
- 2) 図形は、画面に接しても良いが、はみ出してはならない。
- 3) 図形が重なる場合は、下の図形が分かるように表現する。
- 4) 使用する色数は自由。
- 5) 彩色は平塗とし、ぼかし、かすれ、にじみ等の表現は使用しない。
- 6) 画面内は余白を残さず彩色する。また、画面外は彩色せず、イラストレーションボードの白地のまま残すこと。
- 7) 指定された用具のみを使用する。

●作品例



模擬問題 2 ※この問題は平成28年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです

〈問題〉

条件に従い、以下の要素全てを使って、美しい色彩構成をなさい。

- ・任意の正円2つ
- ・直線2本
- ・任意の曲線1本

〈条件〉

- 1) 与えられた A3 イラストレーションボード横位置中央に、縦 210mm × 横 297mm の長方形を描き、その長方形内を画面とする。
- 2) 正円は画面に接しても良いが、はみ出してはならない。
- 3) 図形が重なる場合は、下の図形が分かるように表現する。
- 4) 直線、曲線には幅を持たせない。
- 5) 直線は画面内を貫いて引かれていること。
- 6) 曲線は始まりと終わりが画面の枠と接していること。
- 7) 使用する色数は自由。
- 8) 彩色は平塗とし、ぼかし、かすれ、にじみ等の表現は使用しない。
- 9) 画面内は余白を残さず彩色する。また、画面外は彩色せず、イラストレーションボードの白地のまま残すこと。
- 10) 指定された用具のみを使用する。

●作品例



- 志願者が持参するもの：鉛筆（黒各種）、鉛筆入れ、消し具（消しゴム、練り消しゴム）、鉛筆削り用具（カッター等）※羽根ぼうきまたはブラシ持参可
- 大学で用意するもの：画用紙ボード、草案用紙 等

模擬問題 1 ※この問題は平成27年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです

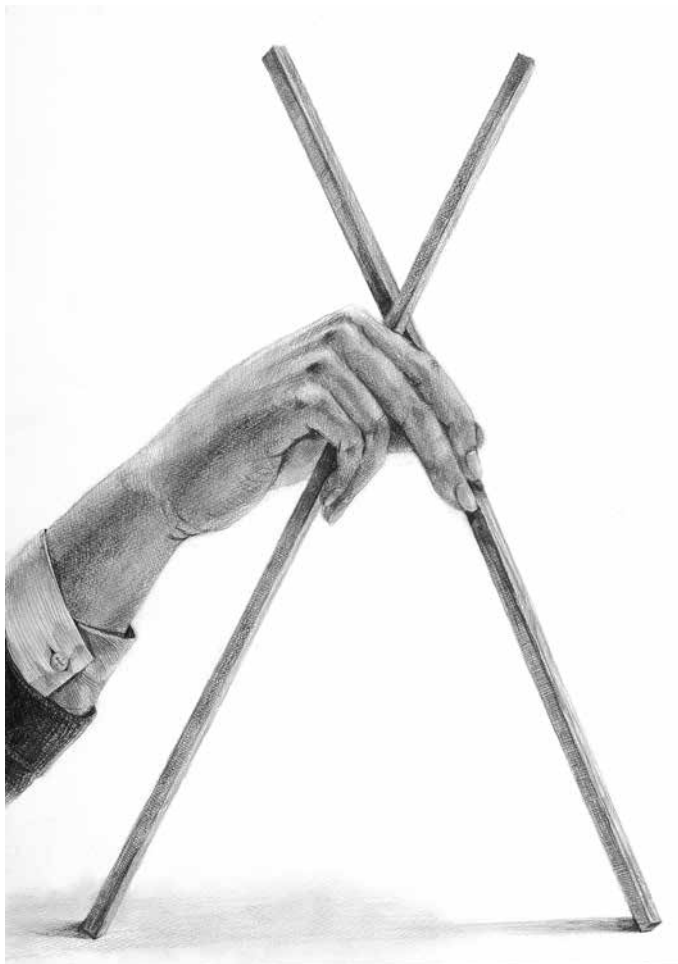
〈問題〉

与えられたモチーフ（角材2本）を持った手（片手）を以下の条件により画面内に鉛筆描写しなさい。また、どのような状況や気持ちを描いたか、100字以内で原稿用紙に制作意図を書きなさい。

〈条件〉

- 1) 解答用紙（B3）の白い面（表）に描いてください。たて、よこのいずれの向きで使用しても構いません。
- 2) 与えられたモチーフは、次のことに注意して描いてください。
 - ・持ち方は自由。
 - ・モチーフは画面からはみ出して描いて構わない。
 - ・描写するモチーフの数は2本とする。
- 3) 描かれた手（片手）は、画面内で実際の手の大きさ程度とします。
- 4) 陰影をつけ、立体的、空間的に表現をしてください。
- 5) 指示された用具のみを使用してください。
- 6) 解答用紙の裏面上部中央には、画面の「上」を示す矢印「↑」を表記してください。

●作品例



模擬問題 2 ※この問題は平成28年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです

〈問題〉

与えられたモチーフ（正方形の銀紙）と片手（左右どちらでも可）を以下の条件により画面内に鉛筆描写しなさい。

〈条件〉

- 1) 解答用紙の白い面に描いてください。
- 2) 解答用紙は、縦、横のいずれの向きで使用しても構いません。
- 3) 与えられたモチーフ（正方形の銀紙）は、次のことに注意して描いてください。
 - ・モチーフの扱いは自由に使用して構いません。
 - ・画面からはみ出して描いても構いません。
- 4) 陰影をつけ、立体的、空間的に描写してください。
- 5) 指示された用具のみを使用してください。

●作品例



小論文 90分

- 志願者が持参するもの：筆記具（HB または B の鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）
- 大学で用意するもの：解答用紙、草案用紙

模擬問題 1 ※この問題は平成27年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです

以下の文章を読んで、下線部 A に関して自分の意見を800字以内で述べなさい。なお、人材、商品等、何を対象として論じているのかを明確にするとともに、キーワードを一つ設定すること。設定したキーワードは文中において で囲んで明示すること。

ここで経営学や経済学で使われる言葉だが、とても大事なキーワードを挙げたい。

それは「コモディティ」という概念である。

コモディティ (commodity) とは英語で石鹼や歯ブラシなどの「日用品」を指すときによく使われる言葉だが、経済学や投資の世界ではちょっと違う意味で使われる。

(中略)

経済学の定義によれば、コモディティとは「スペックが明確に定義できるもの」のことを指す。材質、重さ、大きさ、数量など、数値や言葉でははっきりと定義できるものは、すべてコモディティだ。

(中略)

一定のレベルを満たしていれば、製品の品質は関係ない。たとえば、日本の自動車部品メーカーが作る製品の質は、非常に高いレベルにある。しかし、グローバル化して少しでも安い部品を調達したい自動車会社から見れば、一定のスペックを満たしていれば、それらの部品はすべて「同じ」と判断される。だとすれば、少しでも価格が安いほうから買いたい。

だから、今の自動車業界、とくに部品を供給するビジネスは、どれほど品質が高くても買い叩かれる構造となっている。

ちなみにコモディティ部品のコスト削減をもっとも激しく行った企業が、ゼネラルモーターズ (GM) だ。GM は部品会社の提案に対して、「我々はあなた方の提案にはいっさい興味が無い。我々が求める基準を満たしていれば、価格がいちばん安いところに決めます」と宣言し、徹底して「コモディティ化戦略」をとった。

コモディティ化した市場で商売をすることの最大の弊害は、「徹底的に買い叩かれること」にある。

コモディティ市場において、商品の値段がいくらに決まるかは、非常に明快だ。資本主義市場では、商品が需要に対して不足しているときは値上がりし、余っていれば値下がりするのが根本ルールとなる。コモディティ化した市場は、恒常的に商品が余っている状態になるので、そこでの商品の値段は、供給側（買ってもらう側）の「限界利益」がゼロになるまで下がる。

限界利益とは、経済用語で「商品が一単位売れたごとに生じる利益」のことだが、簡単にいえば、実質的な生産コストを差し引いた、売り手の手元に残る利益のことを指す。

それがゼロになるということは、コモディティ商品を作る企業は、価格競争を続けていった末に、「売っても売っても儲からない」「ずっと商品を提供し続けるだけの飼い殺し」の状態に追い込まれてしまうということなのだ。

身近な例でいえば、近年の牛丼チェーンの値下げ競争に、コモディティ市場の典型を見ることができる。牛丼という食べ物は、チェーンによって多少は味に差があるのだろうが、月に1度か2度食べるぐらいの普通の生活者に、その味の差異が明確に認識されているとはいいがたい。

生活者にとっては、「腹いっぱい、安い値段で牛丼が食べられること」がいちばんのバリューで、吉野家の牛丼か、松屋の牛めしか、すき家の牛丼かはたいした問題ではない。そうなると消費者が牛丼チェーンを選ぶ基準は「少しでも安いほうが良い」ことになり、10円、20円の争いになってくる。だから牛丼チェーンはどこも限界まで利益を削って、値下げすることでしか他社との差別化ができなくなっているのである。

さて、私がここで声を大にしてお伝えしたいことは、「コモディティ化するのとは商品だけではない」ということだ。「コモディティ化」は部品だけの世界の話ではない。労働市場における人材の評価においても、同じことが起きているのである。

(左ページ続き)

これまでの「人材マーケット」では、資格や TOEIC の点数といった、客観的に数値で測定できる指標が重視されてきた。だがそうした数値は、極端に言えば工業製品のスペックと何も変わらない。同じ数値であれば、企業側は安く使えるほうを採用するに決まっている。先ほどの外資系企業の採用の話でいえば、「TOEIC900 点以上」ならば誰でも同じ、という話なのである。

だからコモディティ化した人材市場でも、応募者の間で「どれだけ安い給料で働けるか」という給料の値下げ競争が始まる。

つまり資格や TOEIC の点数で自分を差別化しようとする限り、コモディティ化した人材になることは避けられず、最終的には「安いことが売り」の人材になるしかないのだ。

一会社員、一研究者、一営業マン、一教師、といった具合に、同じような能力を持った人間であれば、今やっていることをほかの誰かと交換しても、代わり映えない労働力になることが、個人のコモディティ化である。

(中略)

コモディティとは前述したように、「スペックが明確に数字や言葉で定義できるもの」という意味である。個々の商品の性能自体が高いか低いか、品質が優れているかどうかは、関係がない。

人間の採用においても同じことだ。学歴が博士課程の人を募集するのであれば「博士」というスペックで、もしくは六大学以上の学歴で TOEIC が 900 点以上というスペックで募集をかける。そうすると、そこに集まった人は「みな同じ」価値しかない。そこで付加価値が生まれることはないのだ。

業務マニュアルが存在し、「このとおりに作業できる人であれば誰でも良い」という仕事であれば、経営者側にとっての関心は「給料をどれだけ安くできるか」という問題になる。

こうして、いかに人を買収するか、という競争がグローバル市場の中で行われ、ホワイトカラーの労働力そのものがコモディティ化してしまった。そのため、今の社会は構造的に「高学歴ワーキングプア」を生み出す仕組みになっているのである。

ここまで述べてきたように、これからの日本では、単なる労働力として働く限り、コモディティ化することは避けられない。

それでは、どうすればそのようなコモディティ化の潮流から、逃れることができるのだろうか。それには^る^る縷々述べてきたように、人より勉強をすとか、スキルや資格を身につけるといった努力は意味をなさない。

※引用のため、一部文章を変更している。

瀧本哲史 『僕は君たちに武器を配りたい』講談社 2011 年より

小論文 90分

- 志願者が持参するもの：筆記具（HB または B の鉛筆・シャープペンシル、消しゴム）
- 大学で用意するもの：解答用紙、草案用紙

模擬問題 2 ※この問題は平成28年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです

以下の文章は1932年に日本を訪れ3年間滞在したドイツの建築家ブルーノ・タウトが著した「日本美の再発見」という本の一節である。タウトは京都の桂離宮をはじめ日本の建築、絵画、生活など様々な分野において、ワビ・サビといった面だけではなく、その芸術性や、機能性、汎用性といった面にも目を向け、それらのすばらしさを国内外に紹介した。

下記の一節は、日本建築の特徴、特に住宅における床の間の特徴について著したものである。現代の日本の住宅では床の間の存在は薄れてはきたものの、自由さと規範を合わせ持つ本来の床の間や畳の部屋のありようは、これからも各方面で応用されていくだろう。

あなたがこの大学で学ぼうと思っているプロダクトデザイン、視覚デザイン、美術・工芸、建築デザインという領域を念頭におき、下線部にある“欠けている「住み心地よさ」”をどのようにしたら提供できると思うか、あるいはどのような空間をデザインしたいと考えているのか、10文字程度のタイトルとともに800字以内で記述せよ。

茶室からは、多くのものが住宅に取り入れられた。（中略）われわれはこれを住宅の静かな全体的着落きに見ることができる。すなわち京都において最も多く見られる真正の「茶趣味」がそれである。しかしこの趣味は、欄間の透し彫とか不自然な釣合、あるいは矮小奇異なものをいっさい排除する。かかる高雅な趣味は、禅に源を発するものとして「渋い」雰囲気、つまり諦観的な調和を要求するのである。

ここで私は、日本家屋のもつ特徴、すなわち日本の国土や、また昔ながらの伝統をそのまま保持している慣習と独自の調和を保っている特徴をくみだしく述べる必要はない。ただ「床の間」は、文化、芸術および精神的な所産を置くべき定め場所として、世界に冠絶した創造である。床の間は、いかなる時代いかなる国土においても模倣せられ、——たとえ形式を異にするにせよ、——継承せられるに値する絶対的な解決である。西洋の画家は、各人の意のままに制作する。しかし彼等は自分の作品を購う人がこれを何に用いるのか、またどこへ掛けるのかを知らない。ところが日本家屋では、絵画の用途と場所とは最初からきまっているのである。日本の部屋は、平常はいつも「虚」である。過去のどんな追憶も仄暗い隅々にまつわっていることがない。なるほどここには西洋の家屋に見られるような「住み心地よさ」は欠けている。数多くの家具、絨毯、カーテン、テーブルクロス、クッション、絵画、壁掛などは備えつけてない。部屋全体がすっかり開け放たれて、通気は自由である。それだからこそ、あたかも白い捏粉でも印したように、あるいは壁にあるいは部屋の隅々に点染して、ややもすれば住む人の心を圧迫する追憶もまた存しないのである。

西洋の真摯な建築家に最も大きな影響を与えたところのものは主としてこれであった。ヨーロッパおよびアメリカにおける現代的な室内建築は、その沿革を実に日本に求めたといってさしつかえない。

<欄間・らんま>

天井と鴨居（かもし）との間に、格子（こうし）や透かし彫りの板などを取りつけた部分。採光通風などのためのもので、装飾を兼ねる。

<諦観・ていかん>

全体を見通して、ものの本質を見きわめること。

<捏粉・こねご>

小麦粉に水を入れてこねたもの。

※引用のため、一部文章を変更している。

ブルーノ・タウト著、篠田英雄訳 『日本美の再発見』岩波書店 1939年より

入学試験に関する問い合わせ
長岡造形大学 入試課

[受付時間] 月～金 8:30～17:00（土・日・祝を除く）

[大学休業期間] 平成28年8月13日（土）～平成28年8月21日（日）
平成28年12月28日（水）～平成29年1月3日（火）

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3343

E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp



公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design